

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道55号 あきどうろ 安芸道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	白：高知県安芸市伊尾木 至：高知県安芸市馬ノ丁				延長	5.8km
事業概要						
一般国道55号は、徳島市を起点に小松島市、阿南市、室戸市、安芸市、南国市などを經由し、高知市に至る延長約200kmの主要幹線道路であり、四国広域幹線ネットワークを形成する基幹動脈として、地域の生活や経済、観光の振興に大きな役割を果たしている。 一般国道55号安芸道路は、地域高規格道路網として整備される「阿南安芸自動車道」の一部であり、四国横断自動車道及び高知東部自動車道と一体的に機能することにより、四国8の字ネットワークを形成し、高知県東部の広域交流の促進及び地域の活性化に大きく寄与する道路である。 また、南海トラフの巨大地震などの災害発生時における緊急輸送道路の確保や、第三次医療施設までの速達性の向上、安芸市内の慢性的な渋滞の緩和、地域産業（農水産業）の活性化支援などを目的として整備を推進している。						
H24年度事業化		H23年度都市計画決定		H一年度用地着手		H一年度工事着手
全体事業費		約252億円		事業進捗率	2%	供用済延長 0.0km
計画交通量		7,100～9,900台／日				
費用対効果分析結果	B／C (事業全体) 1.5 (残事業) 1.6	総費用 (残事業)／(事業全体) 197/206億円 事業費：188/198億円 維持管理費：8.5/ 8.5億円		総便益 (残事業)／(事業全体) 310/310億円 走行時間短縮便益：271/271億円 走行経費減少便益：26/ 26億円 交通事故減少便益：13/ 13億円		基準年 平成26年
感度分析の結果						
(事業全体) 交通量：B/C= 1.3～1.6 (交通量 ±10%) (残事業) B/C= 1.3～1.7 (交通量 ±10%) 事業費：B/C= 1.4～1.7 (事業費 ±10%) B/C= 1.4～1.7 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C= 1.4～1.6 (事業期間±20%) B/C= 1.5～1.7 (事業期間±20%)						
事業の効果等						
南海トラフの巨大地震発生時における緊急輸送路の確保、第3次医療施設への速達性の向上、現道（国道55号）の渋滞緩和、地域産業（農水産業）の活性化を支援など多様な効果が期待できる。						
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の時間損失の削減が見込まれる ・現道等の旅行速度の向上が見込まれる ・現道等の混雑緩和による定時性の確保など路線バスの利便性向上が見込まれる ・JR後免駅（特急停車駅）へのアクセス向上が見込まれる ・高知龍馬空港（第二種空港）へのアクセス向上が見込まれる						
②物流効率化の支援 ・JA土佐あき唐浜集出荷場と高知園芸流通センター間の時間短縮が見込まれる ・高知県東部における農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる						
③国土・地域ネットワークの構築 ・地域高規格道路「阿南安芸自動車道」の一部を形成し、四国8の字ネットワークの形成に寄与する ・隣接した日常活動圏中心都市間（安芸市と高知市）を最短時間で連絡する路線を構成する ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる						
④個性ある地域の形成 ・「観光振興プロジェクト」、「過疎地域自立促進プロジェクト」、「ゆず振興プロジェクト」を支援 ・高知県東部地域への観光アクセス向上						
⑤安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設（高知医療センター）への搬送時間が短縮し、60分圏域が拡大する						
⑥災害への備え ・道路寸断で孤立化する集落の解消が見込まれる						

対応方針